

サブテーマ「健康社会創造に、医学検査はどんな貢献ができるのか～患者へ・医療チームへ・病院経営へ・地域へ～」であった。入場者数は、3,538名、展示入場者数は、36,024名であった。

◆ 第 61 回日本医学検査学会の担当県として三重県技師会から立候補届けを受理した。

◆ 平成 20 年度各地区学会の開催は以下のとおりである。

- 1) 第 84 回北海道医学検査学会：平成 21 年 10 月 17 日(土)・18 日(日)：<北海道函館市>：参加者<451 名>
- 2) 第 50 回東北医学検査学会：平成 21 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)：<秋田県秋田市>：参加者<672 名>
- 3) 第 46 回関東甲信地区医学検査学会：平成 22 年 2 月 6 日(土)・7 日(日)：<千葉県千葉市>
- 4) 第 48 回中部医学検査学会：平成 21 年 11 月 7 日(土)・8 日(日)：<静岡県三島市>：参加者<802 名>
- 5) 第 49 回近畿医学検査学会：平成 21 年 11 月 28 日(土)・29 日(日)：<京都府京都市>：参加者<1,842 名>
- 6) 第 42 回中国四国医学検査学会：平成 21 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)：<香川県高松市>：参加者<1,418 名>
- 7) 第 44 回九州医学検査学会：平成 21 年 10 月 10 日(土)・11 日(日)：<長崎県佐世保市>：参加者<1,157 名>

◆ 日臨技主導による各種認定制度試験を実施した。◇認定心電検査技師制度認定試験：平成 21 年 10 月 25 日(日)、会場：日本損保会館、◇認定一般検査技師制度認定試験：平成 21 年 11 月 15 日(日)、会場：日本損保会館、◇認定臨床染色体遺伝子検査師制度認定試験：平成 21 年 12 月 6 日(日)、会場：日臨技会館、◇受験者数は、認定一般検査技師制度：98 名、認定心電検査技師制度：164 名、認定臨床染色体遺伝子検査師制度：2 名、認定遺伝子検査師制度：4 名。

◆ 臨床検査技師認定機構に参加している各学会(検査血液学会は除外)、審議会、協議会に役員を派遣し情報交換等を行った

◆ その他の各種認定制度への対応として、◇認定 CRC 制度：当会が開催担当団体として「第 9 回 CRC と臨床試験を考える会議 2009 in 横浜を、平成 21 年 9 月 12 日(土)・13 日(日)に開催、◇日本糖尿病療養指導士：日本糖尿病療養指導士認定機構が発行している「CDEJ News letter」の情報コーナーで、認定更新に必要な臨床検査技師関連研修会等を会員に広報、◇MR 専門技術者認定：平成 22 年度以降は、認定取得者の急増は見込めないことから、認定協議会への参加については継続するが、試験委員会等への関与は行わないこととした。機構への役員派遣については、今後は理事を派遣、◇認定あり方検討会：日臨技認定制度に関する当会としての方向性を明確にするため、平成 21 年 7 月 11 日(土)に日臨技会館にて実施した。(既存認定制度の運営について、認定監理技師制度等を含む新規認定制度および臨床検査技師を対象とした他学会との認定制度について等)、◇認定監理技師制度：本制度については学術事業部において WG を立ち上げ検討することとなった。

◆ 技術熟練者による技術指導に e ラーニングの導入を検討するため、e ラーニング推進委員会を設置し具体的な内容の検討に入った。平成 22 年度より本格的に稼働できるよう準備中である。

◆ 会誌「医学検査」の編集を、投稿論文：60 編、平成 18 年度日臨技助成研究報告：2 編、平成 19 年度日臨技助成研究報告：1 編、青年海外協力隊「シニア海外ボランティア」：4 編行った。また、特集は、「日本神経病理学会 プリオン病剖検・病理検査ガイドライン 2008」であった。

◆ 医学検査の表紙体裁を、第 59 巻 1 号から第 59 回日本医学検査学会カラーの「オレンジ色」を採用した。

◆ 会報 JAMT の企画・編集を図書発刊企画委員会が担当し、論説、情報などを掲載した。

◆ 「認定心電技師のための心電図の読み方」を平成 21 年 5 月 31 日に発行した。また、「染色体遺伝子検査の基礎と臨床応用」と「臨床検査精度保証教本」の 2 冊を 21 年度内に登刊予定である。

◆ 平成 21 年度第 1 回日韓代表者会議を、平成 21 年 6 月 19 日(金)韓国<大田コンベンションセンター>において開催された。また、平成 21 年度第 2 回日韓代表者会議は、平成 21 年 7 月 29 日(水)<パシフィコ横浜>において開催された。

◆ 第 3 回アジア臨床検査技師会(AAMLS)学会を、平成 21 年 7 月 30 日、31 日、横浜パシフィコにおいて開催した。一般演題 70 題(学生フォーラムを含む)で、参加人数は、193 名(日本人 114 名を含む)であった。また、参加は、フィリピン、タイ、インドネシア、シンガポール、ベトナム、韓国、香港、台湾、日本の 7 カ国 2 地域であった。

◆ 学会と並行して AAMLS 理事会が開催され、台湾が AAMLS の新しいメンバーとして承認された。また、第 4 回 AAMLS 学会はシンガポールで開催されることが承認された。尚、今後 4 年間の執行体制は以下の通りになった。会長：Rachana Santiyantong 氏(タイ)、副会長：Eddie Ang san 氏(シンガポール)、James Chang 氏(台湾)、会計：Woon Song thong 氏(マレーシア)となった。

◆ 平成 21 年 11 月 20 日(金)～22 日(日)に千葉・幕張メッセで開催された IFBLS 代表者会議・評議員会議が開催され、IFBLS の expert group 活動にアンケートの協力や資料・情報の提供などを行い、IFBLS より発信される各種の情報の日臨技会員への提供、世界医学検査デー広報活動の推進、ホームページを通じた連携強化に努めた。尚、平成 22 年 2 月 5 日(金)～7 日(日)にカナダで開催される Council meeting に小松常務理事を派遣する予定である。

◆ 中華民国技師会(CAMT)<台湾臨床検査技師会(TAMT)>への対応として、昨年同様に同技師会との学術を中心とした交流を実施した。

◆ 開発途上国技術支援の一環として、例年どおり英文フォトサーベイ AAMLS 加盟 11 カ国 1 地域および JICA 検査技術コース研修員を含めて実施する準備を進めた。

◆ 昨年度に引き続き、国際医療技術交流財団(JIMTEF)が実施する個別研修・集団研修への協力を強化させ AAMLS 加盟国間のネットワークづくりのため日本で研修を終えた研修生への情報支援をした。

◆ 昨年に続き、JICA 検査技術コース研修員に対し、平成 22 年 1 月 19 日(火)に日臨技会館において JAMT および IFBLS の活動を紹介した。

◆ 医学検査学会展示会等において、国際協力機構(JICA)や国際医療技術交流財団(JIMTEF)が展開する広報活動に協力した



平成 21 年度 第 2 回定期総会 <予算総会>

日 時：平成 22 年 3 月 27 日(土) 午前 10 時
会 場：大森東急イン 5F フォレストルーム